



Data

監督：陳果（フルーツ・チャン）

出演：クロエ・マーヤン／チャン・チャームマン／チン・マンライ

イ

■ショートコメント■

◆香港の陳果（フルーツ・チャン）監督の名前は、『ハリウッド★ホンコン』（03年）（『シネマ5』286頁）と、その前に観た『ドリアンドリアン』（00年）で覚えていた。両者ともかなり変わった物語で、映画の出来としてはまずまずのものだったが、『ハリウッド★ホンコン』で主演した女優・周迅（ジョウ・シュン）のインパクトはすごかった。その後の彼女の中国の四大女優（四小名旦）としての活躍は周知の通りだ。

◆そんなフルーツ・チャン監督の最新作『三人の夫』が公開されると聞いてビックリ。しかも、これは『ドリアンドリアン』『ハリウッド★ホンコン』に続く『娼婦三部作』の最終章になると聞くと、更にビックリ。しかし、「三人の夫」という邦題は一体ナニ？そう思って、原題を見ると「三夫」だし、英題は「Three Husbands」だから、どれも同じ。要するに、一人の女が三人の夫を持つという意味だ。

しかして、チラシの見出しには「底なしの“性欲”を満たしてくれますか？」「巨匠フルーツ・チャンが描く衝撃作一人魚は陸で暮らせない」「私の虜になった3人の男ー彼らは全員“夫”とあり、さらに「私は、求められ続け 求め続けるー」と書いてある。こりゃ一体ナニ？

◆香港には、人魚伝説（半人半魚伝説）があるらしい。本作の導入部では、カラオケ（？）に集まった若い男女の中で、メガネ（チャン・チャームマン）と呼ばれる男がその伝説をとうとうと語るが、誰もそんな話には興味を示さず、男たちは女たちの物色に余念がない。しかし、そこに警察の手入れが入ると・・・。

そんな導入部を経て、本作は海、陸、空の三部構成で、異常な性欲を持つ女性ムイ（ク

ロエ・マーヤン)を主人公とした物語が始まっていく。『ハリウッド★ホンコン』ではジョウ・シュン演じる東東、紅紅、そして芳芳の魅力がスクリーンいっぱいに広がっていたが、さて本作のムイの魅力は？

◆本作は、フルーツ・チャン監督が山嵐(シャン・サ)という小説家の、水上生活をしている娼婦の物語にヒントを得て18年前から準備をしていたが、ヒロインを演じる女優が見つからなかったうえ、当時は船の中での撮影が難しかったために諦めたようだ。しかし、クロエ・マーヤンという女優を見つけたことによって、本作に挑戦！本作は人魚伝説を下敷きにしたものだから、物語としては、年老いた漁師の夫(チン・マンライ)と共に異常な性欲を持って余しているムイが売春で客をとるというもので、過激な性描写がたくさんある。そのため、「中国本土では上映できず、香港でも成人指定」とされている。

鑑賞前はそんな設定にも興味津々だったが、いざ上映が始まると、ムイのセックスシーンはフルーツ・チャン監督作品とは思えず、まるでアダルト・ビデオそのもの・・・？ムイを演じたクロエ・マーヤンも本作のために13.5kgも体重を増やしたそうだが、そのこともあって、そのヌード姿に全然魅力を感じないから、アレレ・・・。こりゃ完全な失敗作では・・・。

◆ムイの異常に強い性欲はどうやら病氣らしい。したがって、ムイ(の身体)に惚れたメガネは多額の持参金を払ってムイと結婚し、住居も海から陸に移して新婚生活を始めたが、メガネ一人だけでは到底ムイの性欲を抑えきれないから大変だ。もちろん、メガネは夫としての義務の履行(?)に努めたし、医者にも相談したが、解決はムリようだ。そのため、メガネはムイと共に再び陸から海に戻り、元の夫、さらにはムイの父親でムイの子供の父親でもあるという、漁師と同じくらいの年配の男との奇妙な共同生活が始まることに・・・。そして、そこでメガネがたどり着いた結論は、やはりムイには客を取るのがベストらしいということだが・・・。

◆さあ、その後、物語はいかなる展開を？本作のラストは、きっと、ムイは人魚になって海に戻っていきましたとさ・・・。そう思っていたが、いやいや・・・？

2019(令和元)年7月17日記

「三人の夫（三夫／Three Husbands）」（香港映画・2018年）

洋19-103 ★★★

<シネマート心齋橋>

2019（令和元）年7月15日鑑賞

2019（令和元）年7月17日記

監督：陳果（フルーツ・チャン）

ムイ（常人離れた性欲に悩む女性）／クロエ・マーヤン

メガネ（ムイに夢中になった青年）／チャン・チャーミング

ムイの夫、漁師／チン・マンライ

配給：ファインフィルムズ／101分